

福島区

ごみゼロ



リーダー

ニュース

第9号

令和2年10月発行

第9期福島区



廃棄物減量等推進員委嘱状・推進員証

お配りさせていただきました！！

本来ならば、第9期廃棄物減量等推進員委嘱式を開催し委嘱状伝達式及び、推進員の研修会の実施を予定しておりましたが、今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響により中止とさせていただきました。

廃棄物減量等推進員(ごみゼロリーダー)とは、**ごみ減量・3R**(リデュース：発生抑制・リユース：再使用・リサイクル：再生利用)を推進する地域のボランティアリーダーとして活動していただいております。

これから約2年間にわたり地域のごみゼロリーダーとして、大阪市と連携し市民の皆さんへ啓発活動をしていただき、さらなるごみ減量・3Rの推進にご協力をお願いいたします。

普通ごみの減量への取り組み

分別の取り組みで大阪市全域の家庭から出される普通ごみ(平成28年度)年間約33.2万トンから、(令和元年)年間約32.5万トンと約2.2%の微少なごみ減量が進んでいます。

ごみの減量、資源の有効利用には、資源化できるものを分別して出すことが大切です。

分別率アップへの取り組み

【福島区】って、どれくらい分別できているのかな？

※普通ごみに混入している資源、容器包装プラスチック、古紙・衣類の量から推計した分別率です。

(分別状況平成28年度)

資源ごみ 83.4% 容器包装プラスチック 37.3% 古紙・衣類 60.8%

(約2.8%
ダウンしています)

(約0.1%
ダウンしています)

(約5.3%
アップしています)

(分別状況令和元年度)

資源ごみ 80.6% 容器包装プラスチック 37.2% 古紙・衣類 66.1%

福島区から排出された平成28年度から令和元年の分別率の推移について、古紙・衣類の分別率はアップしていますが、資源ごみと容器包装プラスチックの分別率が低下しています。特に容器包装プラスチックの分別率は50%を下回っており、多くの容器包装プラスチックが普通ごみに混入していることがうかがえます。福島区の目標として、容器包装プラスチックの分別率アップをめざしさらなる分別に取り組みましょう！

目 標

1回に出す普通ごみの中から、

1人あたり5g(トレイ(L)1枚分)を分けて出しましょう

《編集・発行》

大阪市 西北環境事業センター

大阪市 西淀川区大和田2-5-66

TEL: 06-6477-1621 FAX: 06-6477-4602

<http://www.city.osaka.lg.jp/kankyo/index.html>

